

(別紙様式)

学校評議員意見交換会報告書

安中市立第二中学校

実施期日	平成23年10月27日(金) 15:00～16:30		
出席者	学校関係者	・阪本幹夫(校長) ・石坂克己(教頭)	評議員 ・吉田 茂 ・本田 英夫(欠席) ・野口 千春 ・高山 良一 ・櫻井 敏人(欠席)
内容 (次第)	1 開会 2 あいさつ 3 日程説明 4 内容 (1)第1回学校評価システム結果(学校関係者・生徒)について (2)情報交換 (3)その他 5 連絡 6 閉会		
意見交換 会の概要	<p>○将来の夢や希望について</p> <ul style="list-style-type: none">・きちんと将来の目標がある人はどのくらいいますか。学年が進むにつれて現実が見えてくるので、具体的な職業でなく、ジャンルのようになってきます。・本校では、2年生になると職場体験学習を、色々な事業所にお世話になり、実施している。富岡や高崎まで出かける生徒もいる。勉強は苦手だが職場体験の場所では生き生きしている生徒が大勢いる。体験学習の良いところである。 <p>○交通安全など安全教育について</p> <ul style="list-style-type: none">・新しくできたやなせ大橋の北側、築瀬地区の歩道が夜間暗いので、築瀬地区で防犯灯を3カ所設置した。その他にも暗いところがあるので、街灯を設置したい。教育委員会にある教育灯設置の予算で出来ないか。・安全安心パトロールをしていて気がついたが、学校の南側の植木が歩道に出ているので、歩行に障害がある。早めの剪定を。・自転車で横に並んで走っている生徒がいる。縦に走らないと危ない。注意をするが、一部生徒の中には素直に聞かない人がいる。 <p>○生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none">・夜間、築瀬の公民館バイクの音がうるさいとの通報があり、警察に連絡した。・自転車通学の生徒は、どこの地区でもきちんとヘルメットを着用している。体操服も裾を引きずる様な生徒もあまり見ない。・生徒指導もなく生徒が落ち着いている時に、さらに徹底してきまりをきちんと守る体制作りを行いたい。・学校としては、不登校の子どもの原因を大きく、学習不振、発達障害、家庭事情、友達関係に分類して、少しずつ改善するよう SC、生徒指導嘱託、生徒指導推進支援員、相談部会、せせらぎの家、関係機関と連携し取り組み、少しずつではあるが改善の方向に進んでいる。・不登校が多いが、親の意識はどうであるか。親が危機感を持って適切に対応すれば良いが、家族全体が病んでいる家庭などが有り、改善につながらないこともある。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none">・塾に行っている生徒の割合について。学年によって違いがある。塾に行っている生徒は、夜遅くまで勉強するなど大変である。夕食も落ち着いて食べられない。・学校評価アンケートについて。保護者と生徒の回答に差が大きい場合、そこに解決の糸口があるのではないか。・校庭の桜の木が老木になり、風で倒れるなど危険な状態である。教育委員会で予算を付けてきちんと伐採の予定である。ソメイヨシノの寿命は、50～60年である。		
所見 及び 課題	<ul style="list-style-type: none">・今回、評議員に第1回学校評価システム結果を事前に届けておいて意見交換会を実施したが、学校として参考になる意見は出たが数が少なかった。今後は、さらにたくさん参考意見が出るよう委員さんに働きかけていきたい。・前回も書いたが、学校評価は、実施後の考察とその対策をどう実行し、改善に結びつけるかが課題で、関係者を巻き込んだ今後の取り組みに力を注ぎたい。		